



©京都市交響楽団

ピアノ
Piano

©B Ealovega

ジャン・エフラム・バヴゼ★
Jean-Efflam Bavouzet★

第687回
定期演奏会

The 687th Subscription Concert of
the City of Kyoto Symphony Orchestra

©井上享典事務所 井上享和

指揮
Conductor

広上 淳一
Junichi Hirokami

京都市交響楽団

フライデー・ナイト・スペシャル
Friday Night Special

2024
3/15金

フライデー・ナイト・スペシャル

午後7時30分開演 (午後6時30分開場) (休憩なし・約1時間プログラム)

京都コンサートホール

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

Fri, March 15, 2024 / 7:30PM <Friday Night Special>

Kyoto Concert Hall about 1 hour with no intermission

ラヴェル：亡き王女のためのパヴァーヌ (ピアノ独奏)★

ラヴェル：「鏡」から「道化師の朝の歌」 (ピアノ独奏)★

ラフマニノフ：交響曲 第3番 イ短調 作品44

Ravel: Pavane pour une infante défunte (piano solo)★

Ravel: "Miroirs" - "Alborada del gracioso" (piano solo)★

Rakhmaninov: Symphony No.3 in A minor op.44

リターン・オブ・広上淳一！
リタ熟のピアニスト、
ジャン・エフラム・バヴゼを迎えて

フライデー・ナイト・スペシャル ④ いつもと違う！

～気軽にオーケストラ・サウンドが楽しめる、
それが「フライデー・ナイト・スペシャル」！～

- ・夜7:30開演なので、仕事帰りにも行きやすい！
- ・休憩なし、約1時間のプログラムで早く終演！
- ・土曜日公演とは違う親しみやすい曲のセレクトで、
④・⑤2日間とも楽しめる！
- ・リーズナブルな料金設定で来場しやすい！

開演前 (午後7時ごろから) は指揮者による「プレトーク」でお楽しみください。
「プレトーク」はホール・ステージ上にて開催します。



入場料 2024.1/19金から発売

3/15金公演 フライデー・ナイト・スペシャル

S 4,000円 A 3,500円 B 3,000円

「U22」(当日残席がある場合のみ発売)

C 2,000円 P 1,500円 (舞台後方席)

S 1,500円 A 1,000円 B 500円 C 500円

- チケットご予約
- ・京都コンサートホール (075)711-3231
 - ・ロームシアター京都 (075)746-3201
 - ・24時間オンラインチケット購入 <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>
 - ・チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード227-678
 - ・ローソンチケット <https://l-tike.com/> Lコード54469

※22歳以下のお客様が対象です。開演1時間前から発売 (当日券売場にてお買い求めください)。電話や窓口での事前予約はできません。席種は選べますが、座席指定はできません。ご購入及びご入場の際には年齢の確認できる証明書をご提示ください。

- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約・定員10名)をご利用ください。(お子様お1人につき1,000円/2024年3月8日までに京響075-222-0347へお申し込みください)
- ◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引 (10%OFF) があります。京響 (075-222-0347) までお問い合わせください。
- ◆障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱います (窓口で手帳等の証明書をご提示ください)。



お問い合わせ

京都市交響楽団 (075)222-0347 <https://www.kyoto-symphony.jp/>
京都コンサートホール (075)711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>

©未就学のお子様のご入場はお断りいたします。◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団



協賛：ローム株式会社

協力：株式会社ドルチェ楽器

後援：(株)エフエム京都

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。



第687回定期演奏会
京都市交響楽団

The 687th Subscription Concert of **フライデー・ナイト・スペシャル** Friday Night Special
the City of Kyoto Symphony Orchestra

ジャン・エフラム・バヴゼは1962年フランス生まれのピアニスト。1986年ベートーヴェン国際ピアノコンクールで優勝し、古典から現代作品まで幅広いレパートリーを持っており、今回「フライデー・ナイト・スペシャル」ではラヴェルのピアノ独奏曲の名曲を披露してくれます。そして、プログラム後半はラフマニノフの交響曲第3番をお聴きいただきます。交響曲第2番の発表から約30年後、1936年6月に亡命先のアメリカで完成、同年11月にフィラデルフィア管弦楽団で初演されました。後には作曲家自身の指揮によって同管弦楽団で録音もされたほど自信作だったようです。お馴染みの広上ワールドが炸裂します！



指揮 Conductor

広上 淳一 Junichi Hirokami

東京生まれ。尾高淳忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。1984年、26歳で「第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」に優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放送響、コンサートヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。これまでノールショピング響、リンブルク響、ロイヤル・リヴァプール・フィルのポストを歴任、このうちノールショピング響とは94年に来日公演を実現、さらに米国ではコロンバス交響楽団音楽監督を務め、ヨーヨー・マ、五嶋みどりをはじめ素晴らしいリストたちとともに数々の名演を残した。近年では、ライブツヒ・ゲヴァントハウス管、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、バルセロナ響、サンクトペテルブルク・フィル、ニュージーランド響等へ客演。国内では全国各地のオーケストラはもとより、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団にもたびたび招かれ絶賛を博している。オペラ指揮の分野でもシドニー歌劇場デビューにおけるヴェルディ《仮面舞踏会》、《リゴレット》が高く評価されたのを皮切りに、グルック、モーツァルトからプッチーニ、さらにオスバルト・ゴリホフ《アイナダマール》の日本初演まで幅広いレパートリーで数々のプロダクションを成功に導いている。2013年「第32回藤堂音楽賞」、2015年京響とともに「第46回サントリー音楽賞」、2016年「第36回有馬賞」を受賞。2019年度「京都市文化功労者」。2020年「令和2年度京都新聞大賞」、2022年「京都市特別功労賞」を受賞。京響においては、2008年4月から2020年3月まで第12代常任指揮者（2014年4月からミュージック・アドヴァイザーを兼務）、2020年4月から2022年3月までは第13代常任指揮者兼芸術顧問を務めた。現在はオーケストラ・アンサンブル金沢アーティストティック・リーダー、日本フィルハーモニー交響楽団 フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団 広上淳一、京都コンサートホール館長。また、東京音楽大学指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。

ピアノ Piano

ジャン・エフラム・バヴゼ Jean-Efflam Bavouzet

パリ音楽院でピエール・サンカンの下で学ぶ。1995年にサー・ゲオルグ・ショルティ指揮でパリ管弦楽団にデビュー。ショルティが最後に発掘した逸材との呼び声も高い。彼の音楽に対する情熱と芸術的探究心は、彼の幅広いレパートリーから何うことができる。ハイドン、ベートーヴェン、バルトーク、プロコフィエフをはじめ、プーレーズ、マントヴァーニ、ヴァイトマンら現代作曲家の作品にも意欲的に取り組んでいる。近年のハイライトには、クラーヴランド管、ニューヨーク・フィル、ボストン響、サンフランシスコ響、モントリオール響、ロンドン響、フィルハーモニア管、バーミンガム市響、ロンドン・フィル、フランス国立管、フランス放送フィル、オランダ放送フィル、ブダペスト祝祭管等と、ゲルギエフ、サロネン、ガツェティ、ドホナーニ、アシュケナージ、ノセグ、エラス＝カサド等の指揮での共演があげられる。リサイタル、室内楽も意欲的に行っており、ロンドンのサウスバンク国際ピアノ・シリーズおよびウィグモア・ホール、パリのシテ・ド・ラ・ムジークおよびシャンゼリゼ劇場、アムステルダム・コンサートヘボウ、ブリュッセルのパレ・デ・ボザール、フランスのラ・ロック・ダンテロンやピアノ・オ・ジャコバン音楽祭にも登場。英国チャンドス・レーベルの専属レコーディング・アーティストであるバヴゼは、ドビュッシーのソロ・ピアノ作品全集録音のプロジェクトを行い、ル・モンド・ドゥ・ラ・ムジーク誌のショック賞、ディアパソン・ドール賞、BBCミュージック・マガジン最高賞、グラモフォン賞などいくつもの賞を受賞。また、ベートーヴェン、ハイドンのピアノ・ソナタ全集、マンチェスター・カメラータとのハイドンの協奏曲集、モーツァルトの協奏曲集、BBCフィルとのバルトークのピアノ協奏曲、BBC響とのラヴェル、ドビュッシーとマスネのピアノとオーケストラのための作品集はいずれも絶賛されている。



京都市交響楽団 City of Kyoto Symphony Orchestra

1956年に創立し、日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つオーケストラ。2015年、第12代常任指揮者の広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞、同年6月、広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収めた。平成28年度地域文化功労者表彰、2017年「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞等を受賞。2020年4月、第13代常任指揮者兼芸術顧問に広上淳一（2022年3月まで）、首席客演指揮者にジョン・アクセルロッド（2023年3月まで）が就任。2008年4月から2022年3月まで14年間にわたり常任指揮者を務めた広上淳一のもとでは、数々の名演を生み出して黄金時代を築き上げた。2023年4月から第14代常任指揮者に沖澤のどかが就任、さらに2024年4月からは首席客演指揮者にヤン・ヴィレム・デ・フリントが就任予定。京響は今、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。

次回予告



2024.2/17から発売！

第688回
定期演奏会

アルフテルが得意とする大編成 — アルプス山脈の壮大な交響曲
そして辻彩奈の絶品プロコフィエフ

日時：2024年4月13日 午後2時30分開演 会場：京都コンサートホール
指揮：ペドロ・アルフテル 独奏：辻彩奈（ヴァイオリン）★
曲目：プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲 第2番 短調 作品63★
R.シュトラウス：アルプス交響曲 作品64
入場料：S 5,500円 A 5,000円 B 4,000円 C 3,000円 P 2,000円（舞台後方席）